

分館活動の實際について

公 民 館 活 動

分館活動の実際について

部落公民館につま
り、分館活動につま
いては、ずっと前
に御せ致しまし
たし、その衝に当
る方々は、よく御
存知の事でしよう
が尚一般の方々に
よく理解してい
たとき、そな部落
づくり、村づくり
の為に努力してい
たゞく為にもうた
度くわしく記載致
しまして、
分館運営規則等
による分館運営
の純化を図る。
一、部落民の為、
実際生活に則す
教育、学術及び
文化に関する
事業を行い、部落民の教養
向上、健康の増進、清操
の純化を図る。

二、部落民の楽しい集いの
場所たらしめ、以つて部
落民の融和と協力を図る
三、生活の改善並に合理化
を図り、生活文化の振興
を図る。

四、部落の実際に即する産
業の研究を行ひ之が振興
を図る。

五、村政の民主化に寄与し
た丈で、村でも地区でも、
部落でも公民館の目的は同
じであります。

唯、分館は部落全体のも
のであり、部落全体の利益
に奉仕し、部落民全体の意願
のもとに運営されなければ
なりません。

それで、これらの部には、それぞ
れ部長と幾人かの部員が居
ります。

そして先述の目的を達成
してゆく為には、事業別に
執行部を設けて合理的にや
つてゆかねばなりません。

即ち教養部とか、産業部
とか、図書部とか、体育部
とかがあります。

これららの部には、それぞ
れ部長と部員は、その部の事
業計画立案から実施をして
ゆきます。

唯その場合、無計画、行
き当たりバツタリと云うのみ

西豊永地区 大杉地区 日浦分館
天坪地区 本村分館

毎月一回 新生活運動 研究会 努力する 川口公民館

去月、中央公民館主催による新生活運動校下別研究協議会を行った際、大杉地区の川口公民館でも毎月一回この種話し合せの会を持つこととなり最初の集りが八月十五日、夜同館で行なわれた。

從来同地区は極めて集りの悪い土地とされていたが同夜は老若男女四十数名が寄つて、会としては今までない盛会を呈した。

幻灯を楽しみ、「村婦大豊音頭」の歌と踊りの練習の後、話し合いに入り、同地区的色々な問題点をにぎやかに話し合つた。

その結果、毎月一回のこの会は、十五日に開催し申し合めた開会の時刻を厳守することゝし、とりあえず来月は、「いかにして時間を守るか」—結婚の改善出来れば一つの線を出してある。

又七月二十日には同じく天坪地区の久寿軒社会学級が久寿軒校下民を対象として開講した。

これら一般成人を対象とする勉学機関が、今後どのように発展して行くか、興味深いものがある。

從来成人教育は難しいものとされ、又大人自身も勉強すると云うことは大部分の者が苦手であり苦痛に感

実践に移して行くこととなつた。会毎には中央公民館からも、映画や幻灯を持つて行き楽しみ乍ら愉快に話し合いを進めることになつてゐる。

この話し合いが、今後どのように發展して行くか、期待する所大である。

『館報日浦』を発行

日浦分館

モデル分館研究指定を受けた日浦分館では、これを機会に運営組織の再組織を行ひますぐ活潑な活動展開に入つた。

館長小笠原勝市氏を先頭に事業部門は主として青年の方々が当り、つい最近も機関誌「館報日浦」を発行し、映画会、幻灯会などを手初めに積極的な活動えの意欲を見せてゐる。

「館報日浦」は今後も定期的に発行し、分館活動の徹底化に尽す予定である。

業研究会連合会に
会長 森 下
種の栽培農業相談所
本葉二枚の時に仮植床に移す。仮植床地の準備は苗床と同じ方法で準備する。
假植の寸法は四寸×四寸以上の間隔を置くこと。（広いだけ良い）
活着したら、うすい下肥をかける。その後数回定植迄に下肥を掛ける。
本圃
元肥尿素二貫一三貫、溶焼一八貫一一〇貫、塩化加里二貫一三貫を施すか、化成肥料一〇貫に溶焼三貫を加えて一反歩に施す。
耕起の時、硝石灰反当二〇貫を施しておぐとよい。
下旬迄に定植することと、遅くすると成績が悪いので早目に定植すること。
追肥一十二月下旬と一月下旬に尿素を一貫一、五貫あて追肥する。
一月下旬の追肥は塩化加里一貫を撒加した方がよい。

苦難を極めた

分館設置 民館長 三谷 徳太
簡炎大大雨の下、寒風積雪の中での建設作業に従事した部落民の苦難が渙んでいたことと夫々の部署、立場に於て献身的努力が続けられた。中でも稚蚕共同飼育場設置の端緒より公民館併設の進展に至る寄与計画より作業に従事し完成迄努力が続けられた。中でも稚蚕共同飼育組合長三谷美好氏、計画より資材の調達、事業推進の部落の總括的配慮と率先建設作業に従事努力して完成までの進行を促した当時の導きし委員長三谷盛頸氏、計画より資金資材の調達と建設の全般的苦心配慮や作業に従事して進行に力を致し完成多くの方々の努力で完成に至った。

公民館
五

卷之三

公 民 館 活 動

について実際の活動分館

なく、よく部落民の心持ちを反映せしめることゝその部落の実態をよく知つておくことが必要です。

そしてあれもこれもと盛たくさんの仕事をして、結局なにも残らなかつたと云うのでは、意味がありませんので、お金とともにみ合せ、無理のない計画のもとに着実に出来ることからやつてゆくことです。

経費

部落の実態も、分り過ぎる程分つてゐるし、従つて実践しなければいけない仕事は山程もあるが、問題は経費の点で行詰つてやることの三分の一も出来ない現状であります。

現在では五十も六十もある分館に、いち／＼村から補助金を出すと云つても莫大な額に上りますし、今の村の状態ではとても不可能です。又補助金を出すと云つても全分館に分配すれば、それがこそ省の渡程度で、何の従つて村の規則にも「よう分館の経費は、当該部落の負担とする」とあります。

経費捻出については、いつも寄附／＼でもやつていただけないし全くどの分館も頭痛の種ですが、分館の行う事業の一つ一つが全部純消費のかゝるものばかりではありません。

事業の中には、全然経費の必要でない、しかも適切なものがある筈です。そんな所えも皆が考えを出し合い工夫し合つて、やつて行けば案外経費の点で頭を悩ます事も半減するのではないかと少なからず、困難性を感じるものですね。

ですが経費の必要もなく、しかも部落でやられねばならないことは、たくさんあります。

これらは、部落の一人一人が考え方を出し合い、歩み寄り話し合いの中で解決していくかねばならないもので

西豊永地区 大杉地区 日浦分館
天坪地区 本村分館

毎月一回 新生活運動 研究会 努力する 川口公民館

去月、中央公民館主催による新生活運動校下別研究協議会を行った際、大杉地区の川口公民館でも毎月一回この種話し合せの会を持つこととなり最初の集りが八月十五日、夜同館で行なわれた。

從来同地区は極めて集りの悪い土地とされていたが同夜は老若男女四十数名が寄つて、会としては今までない盛会を呈した。

幻灯を楽しみ、「村婦大豊音頭」の歌と踊りの練習の後、話し合いに入り、同地区的色々な問題点をにぎやかに話し合つた。

その結果、毎月一回のこの会は、十五日に開催し申し合めた開会の時刻を厳守することゝし、とりあえず来月は、「いかにして時間を守るか」—結婚の改善出来れば一つの線を出してある。

又七月二十日には同じく天坪地区の久寿軒社会学級が久寿軒校下民を対象として開講した。

これら一般成人を対象とする勉学機関が、今後どのように発展して行くか、興味深いものがある。

從来成人教育は難しいものとされ、又大人自身も勉強すると云うことは大部分の者が苦手であり苦痛に感

実践に移して行くこととなつた。会毎には中央公民館からも、映画や幻灯を持つて行き楽しみ乍ら愉快に話し合いを進めることになつてゐる。この話し合いが、今後どのように發展して行くか、期待する所大である。

『館報日浦』を発行

日浦分館

モデル分館研究指定を受けた日浦分館では、これを機会に運営組織の再組織を行ひますぐ活潑な活動展開に入つた。

館長小笠原勝市氏を先頭に事業部門は主として青年の方々が当り、つい最近も機関誌『館報日浦』を発行し、映画会、幻灯会などを手初めに積極的な活動えの意欲を見せてゐる。

『館報日浦』は今後も定期的に発行し、分館活動の徹底化に尽す予定である。

業研究会連合会に
会長 森 下
本葉二枚の時に仮植床に移す。仮植床地の準備は苗床と同じ方法で準備する。

苦難を極めた

分館設置 民館長 三谷 徳太
簡炎大大雨の下、寒風積雪の中での建設作業に従事した部落民の苦難が渙んでいたことと夫々の部署、立場に於て献身的努力が続けられた。中でも稚蚕共同飼育場設置の端緒より公民館併設の進展に至る寄与計画より作業に従事し完成迄努力が続けられた。中でも稚蚕共同飼育組合長三谷美好氏、計画より資材の調達、事業推進の部落の總括的配慮と率先建設作業に従事努力して完成までの進行を促した当時の導きし委員長三谷盛頸氏、計画より資金資材の調達と建設の全般的苦心配慮や作業に従事して進行に力を致し完成多くの方々の努力で完成に至った。

昭和31年9月18日発行

(3)

(第8号)

郷土の民謡

『大豊音頭』完成

村の民謡「村婦大豊音頭」の大発表会は関係者百五十名の出席を迎えて極めて盛況に去月二十九日に杉小学校講堂にて行なわれた。そこで間に周知の通り同音頭は連合婦人（会長橋本晴喜さん）の手により計画が進められ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高知大学教授、高知フラー、ソング・クラブの主宰による橋本正夫氏による作曲が行なわれ、高知市秦小学校長伊与木了氏の踊りの振りつけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

伊与木了氏の踊りの振り

つけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各

種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

伊与木了氏の踊りの振り

つけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各

種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

伊与木了氏の踊りの振り

つけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各

種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

伊与木了氏の踊りの振り

つけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各

種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

伊与木了氏の踊りの振り

つけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各

種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

伊与木了氏の踊りの振り

つけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各

種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

伊与木了氏の踊りの振り

つけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各

種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

伊与木了氏の踊りの振り

つけがあつて、完成したも

うでに大好評のうちに各

種行事や会合に歌はれ踊ら

れつつある。発表式後橋本正夫氏指導による「ラフ

音頭」の手による練習合

唱があり、踊りの練習に汗を流して午後五時閉会し

十名の出席を迎えて極めて

盛況に去月二十九日に杉小

学校講堂にて行なわれた。

すでに間に周知の通り同音頭

は連合婦人（会長橋本晴喜

さん）の手により計画が行

なわれ、畠山百合子さん（角茂谷）の入選作詞に高

知大学教授、高知フラー、

ソング・クラブの主宰によ

る橋本正夫氏による作曲が行

なわれ、高知市秦小学校長

